

小笠東地区 市政懇談会

日時 平成 19年 7月 7日 19時から

会場 棚草公民館

参加者数 77人

懇談 (質疑応答)

丹野自治会より

県道大東菊川線の整備事業の更なる推進と路線中の丹野地区内の未改良区間(丹野池までの接続)の早期完成について

先月運営委員、班長さん等をお願いして、市長への要望等があったら言ってきて欲しいと相談しました。2点ほどお願いします。

地元を南北に県道大東菊川線が通っています。計画では丹野池を北進して牧之原の473号線の突き当たり、それから富士山静岡空港、あるいは東名、第2東名にアクセスする機能を持つ道路として計画されていると聞いています。毎年改良はされていますが、事業費ベースで平成17年度1千万円、平成18年度も1千万円、平成19年度も1千万円位つけていただいておりますが、継続していただけるのはありがたいですけれども、早期に供用出来るよう是非お願いします。県の事業ですので、県におつなぎいただき、早急に供用開始できるようにお願いいたします。あそこに丹野池という農業用水の機能を持った池があります。旧小笠町時代に周辺を親水面を含めた整備をしていただき、今は非常にきれいになりました。ラジコンヨットの全国大会も開かれます。桜の時期には花見のお客さんも多く見られます。全線の推進は引き続きお願いしますが、地元の生活道路にもなっていますので、とにかく丹野池までは早期にお願いします。あと250m未完了区間があります。よろしくお願いします。

市立図書館の開館時間の繰り上げについて

市立図書館の開館時間ですが、今、午前10時に開館しています。館運営の事情もあると思いますが、要望として全日1時間繰り上げて、9時に開館の方が利用促進につながるのではとの話がありました。全日が無理なら土日だけでも9時にしていただければとの話がありました。よろしくお願いします。

市長

丹野のところの道路につきましては、本年度も1,000万円の計画です。ただ、この道路につきましては、昨年も話しましたが、473号線につながる重要な道路で、県道ですから、将来的に重要な、有効な道路になると思います。そのようなことを考えながら、県のほうには、473号線あるいは静岡空港をからめて、重要な道路としてきちっと要望してまいります。担当に聞きますと、今年事業費1千万円で230m、丹野

池のところまで改良できるのではないかとのことでした。丹野池のところまで、なんとか完成させるように努力してまいります。

図書館の件ですが、私は図書館は、これからの人づくりに重要な取り組みになると思います。合併した当時、小笠と菊川で開館時間が違っていましたので、すり合わせのなかで、10時から6時という経緯があります。使うのは市民の皆さんですので、関係する図書館の委員の皆さんとか、運営委員の皆さんとか、職員の方で話をさせていただき、使い勝手の良い時間となるよう検討してまいります。

川東自治会より

不要な横断歩道の変更と追い越し禁止化について

用意された地図を示して説明

不要となった横断歩道の変更と追い越し禁止についてということですが、なぜ不要となったかと言いますと、15年位前の通学路が今は変わってしまった、ここは誰も通りません。要望と言うのは、研究をしてみました、ここに(地図を示して)止まれと言う旗のボックスを作ってください、止まるのを待って渡れば安全かと思います。人身事故が2件ありました。ここを渡る人はいませんから、自転車も人も自動車もここに来ます。一人は軽傷、一人は重傷でした。手続きはややこしいと聞きますが、ご尽力をいただき、一日でも早くお願いします。

追い越し禁止は、この道をスピードを出して走って来て、ここから出る人は危なくて出られません。安全を加味していただき、この区間を是非追い越し禁止に、お願いします。

警察官の不足について

警察官の不足のことですが、これは、市長さんにもお越しいただいた落成式(公民館)の後、ふていの輩が現れまして、たばこなどほったらかして、ゴミなど困ったことがありました。菊川署にパトロール区域の入れていただき、夜間でも立ち寄って下さいとお願いにあげりましたが、おまわりさんが足りない、パトカーが夜1台しか動いていない、警ら隊3名しかいない、一人は留守番、なにかあったら連絡をくれれば直ぐ行きますと言われました。1台ではとても無理な話で、しばらくして昼は寄っていただけましたが、おまわりさんの絶対数が足りない。聞いたところ、去年県警で50人採用した。訓練中に10人辞めてしまったらしいです。菊川市だけの問題ではありませんが、ぼくらのところは虫が飛ぶような田舎ですが治安が悪いです。努力していただいて、1名でも2名でも増やしていただいて、是非この地区に回して下さい。

市長

横断歩道につきましては、警察、公安委員会の方になりますので、自治会長さんから強い要望があったということで、文書はこれでいいですから私の方から警察に話をいたします。担当課の方から話をさせていただきます。ここは通学路になっていま

すね。

警察のことですが、菊川市でも犯罪が多くなってきています。みなさんは、菊川警察署に何人の方がいると思いますか。交番がいくつかあり警察署がありますが、何人位の警察官がいると思いますか。1年前の記憶ですので違っているかもしれませんが、90人です。刑事課、生活安全課、交通課とか全部で90人から95人だったと思います。昨年からは警察のゾーニングが変り旧御前崎町が管轄に入った時に、前の署長さんは10人位増えると思っていたそうですが、1人も増えなかったそうです。よそに比べれば浜岡原発がありますので多いらしいですが、それでも充分ではありません。都市化してきており、警察官が少ないと感じています。菊川市だけの問題ではなく、県のなか、県警ですので警察官を増やしてもらおうとか、治安の問題とか要望をこれから出して行きたいと思いますので、その時は自治会の皆さんの後押しをお願いします。

三協 男性

三協地区の交通安全のお願いです。目木の奥に新しい道路ができました。三沢、奥横地、菊川へ通勤、通学、買い物に便利にはなりましたが、反面、運送会社があり大型トラックが頻繁に通るようになりました。ゼンカイまでは一車線で下り坂で、真っ直ぐの道ですが、ゼンカイから渡までは非常に狭く、すれ違いも出来ません。保育園のところは今まで狭かったが、すれ違いのできる大きな道路になりまして、促進、宮下、川西から目木に抜ける車が増えまして、渡の交差点が危険であり信号機の設置をお願いします。丹野川の橋から渡の所までを、狭いですのでスクールゾーンとして、朝の1時間を一方通行にして欲しい。ガードレールもない小さな道路で、すれ違い時に川に落ちる危険もあります。東小のPTA、先生からも信号機の早期の設置を頼まれています。3点についてお願いします。

市長

フジオーゼックスさんの所からの道のことですね。小笠支所長と自治会とで一度相談して下さい。通学路ですので事故があってははいけませんので、早急に対応するよう内部で相談させていただきます。

古谷 男性

毎年この話が出されていると思いますが、丹野トンネルの切通し化について、市の考え、県の考えをお伺いしたい。

市長

地元から強い要望をいただいていますトンネルのオープンカットについては、昨年、一昨年位に工業導入ということも考えたりしましたが、現在、県からは具体的なことは来ていません。市としては話を県の方に出しています。再度、県に聞いてみますが、事業化、具体的な話は聞いていません。また、県に聞いてみます。

建設経済部長

トンネルが狭く危険と言うことは分っております。県道ですので県に対して再三何とかして欲しいと言っておりますが、残念ながらオープン化については具体的な話はありません。引き続き粘り強く、県に対して申し入れてまいります。

川上 男性

外国人についてお聞きします。静岡県に42市町ありますが、菊川市の人口は49,741人、外国人が4,157人、総人口割合が8.36%。掛川市は120,931人、外国人、5,578人、総人口割合は4.61%。静岡県で総人口割合が菊川市が第1位、その辺について市長はどう思いますか。菊川市のホームページには外国人の情報がありません。掛川市のホームページを見ますと人口の一覧表があり、自治会に外国人が何人、男性が何人、女性が何人とか、0歳から100歳までの年齢に対して日本人、外国人の一覧が載っています。同じようにホームページ上に統計等を載せてもらえないか。

市長

ホームページに外国人が何人いるかデータとして提供いたします。支障のない限りやるよう指示いたします。外国人については、お話のとおり4千数百人の外国人の方がおられます。県内で率がトップですが、中でもある地区は十数パーセントの外国人がおられます。市としましては共生、一緒に住んでいくわけですので、言葉の問題、教育、生活習慣、自治会と色々な課題があり庁舎内部で、一つのセクションだけでなく色々なセクションにまたがりどのように対応していくか、協議をはじめています。自治会、学校、病院などとの関係を内部で調整してしておりますので、なるべく早いうちに、方向性を皆さんにご案内します。外国人の皆さんにも、菊川市のやり方を理解していただき、一緒になって生活していただくよう考えておりますので、自治会の皆様にもご協力、ご理解をお願いします。

川中 男性

財政計画で実質公債比率がありますが、平成17年度で18.8%、19、20、21年と危ない数値となっておりますが、その後だんだん減り、平成27年にはこんなに減るかなと思う位に下がると言うことで、実際の推計の中には不確定要素と言いますか、盛り込まれていない、盛り込めない大きな事業が、この数字には反映されていないと思いますので、実際はここまでは下がらないと思いますが。合併の頃に言われたような、第二段階の合併は財政上は考えなくても良いと解釈してよろしいかということとホームページを良く見ますが、菊川市のホームページは情報量が少なすぎると思います。同じ頃合併した牧之原市さんは、ホームページも綺麗になり情報量も多く、市長も緑飲トークですか、10日に1回だけ、1週間に1回、コラムを載せていて、市民にとっても楽しいホームページになっています。総務省の統計では、9千万人近いホ

ホームページの利用人口があり、インターネットでは8千万人、携帯の利用が7千万人と言われていますが、菊川市ではそこまでいかないと思いますが、若い世代はホームページは身近ですので、IT政策に力を入れていただきたい。

市長

実質公債比率の18.8%は15、16、17の3年の平均です。平成18年度は19%位になります。20年、21年頃までは公債比率は伸びていきますが、借金を返す基金を積み立てて、数年後には償還するなどによってスリム化して、硬直化を避けるなど、色々なやり方をやっています。事業がこれからどのように展開していくかは分かりませんが、総合計画を作り、実施計画を作り、色々な計画の中で、議会の皆さんと話しをしながら、いかに硬直化を下げていかに取組んでおります。借金をすれば事業ができますが、先ほど話しましたとおり、これからは高齢化が進み、民生関係、福祉が大きなウエイトになりますので、資金繰りについて慎重にならざるを得ません。後年度に財政負担を残さないように、健全化計画をたてているところです。

IT関係につきましては、私どもも多くの情報を提供し、透明化を前に出そうとやっています。ご指摘のありましたように、まだ改善すべきところがたくさんあります。戻りまして、皆さんに親しまれ、見たくなるようなホームページにしていきたいと思えます。

花水木 女性

高齢化の話があり、民生費も平成8年に比べ多くなっているということですが、高齢化につきまして、菊川市ではどのような対策をされているかお伺いしたい。介護予防が言われています。本当に介護予防をしていただきたい高齢者の方は、けやきにまではご自分で行けません。けやきで予防教室とか開かれています。そちらに出る方は元気の方。今後、地区センター、コミュニティセンターが出来ると思いますが、高齢化を考えたコミュニティセンターの利用し方とか、何か検討されていることがありますか。

市長

高齢化が決して悪いわけではありません。これから高齢化が進む、元気なお年寄りがいるまちにしないで、いけないと思います。市としては、施策として健康診断とか、色々な予防とかをやっています。元気な高齢者がたくさんいる菊川市にしていきたい。それが基本的な考えです。それぞれの地区センター、コミュニティセンターでこの話でしたが、コミュニティ協議会の中で、これから地域の高齢者をどのようにしたらいいか、子供たちの保育をどのようにしたらいいか、今は自治会の皆さんが中心ですけれど、もっと輪を広げて、これからの地域社会、文化とか歴史とか高齢者対策、子供対策とか、そういったものをコミュニティ協議会、コミュニティセンターを中心としたなかでのまちづくり、人づくりを前に出して行きたいと思えます。

福祉環境部長

これから、さらに高齢者が増えてきます。地域での高齢者の方の対策が重要となってきます。地域において高齢者の方の生きがいつくりなど、地域での取り組みが重要となってきます。その中でコミュニティセンターの建設が予定されていますが、そういった施設を利用したなかで、今、私どものほうで地域福祉計画を作っていますが、また、この行動計画を社会福祉協議会が実施していきますが、そういった計画と連携をしながら、コミュニティセンターを中心とした地域づくりが重要となってきますので、ご協力をお願いします。

古谷 男性

浜岡原発のプルサーマル計画の問題ですが、国の方から許可が出たような気がしますが、最終的には議会の方のことになるかと思いますが、何かあれば住んでいる私たちも被害を被ると思います。議会の方で結論を出すことは結構なことと思いますが、その前に住民にこういう事業が行われている、こういう特性がある、こういう危険があるということと話してから、議会の方で結論を出していただきたい。

もう一点は農業後継者の問題です。若い後継者が育つのか危機感を持っています。そうした中で、お茶の生葉の関係では、基準価格というものが設けられています。栽培の関係の人達が、一緒に出した権威ある価格だと思います。この価格のなかでも後継者を育てるだけのものが、どんな形でやれるのかというものが、出来れば。一つの夢、ビジョンとして、経営規模はこの位、労働力はこの位、というものが出来れば、後継者に対して胸をはって勧めていくことができるのではないかと思います。これから、本当にやってくれる若い人たちが後に続いてくれなかったら、ここにある田園地帯は荒廃するしかありません。大きな問題です。この辺に対してお答えをいただければ。

市長

原発、プルサーマルの件ですが、昨日、国の方から設置許可が中電に下りたところでありまして、まだ詳しい説明は聞いておりません。隣接市であります菊川市におきましては、国とか県から十分な説明をしていただくということを、これからも当然訴えていきますし、市民の皆さんにもプルサーマルあるいは原子力について、色々勉強していただきたいと思います。議会の皆さんも一生懸命研究されておりますし、今後、協議されたものについては、市民の皆さんに情報は提供されると考えておりますし、私たちもしていかなければならないと考えております。

お茶の関係ですが、昨年と今年の2年間のお茶を見ますとショックが大きいです。小笠、菊川におきましては、お茶は基幹作物で、お茶が景気が悪いと市の活力が低下します。今、JA 茶商さん、生産者と意見交換しながら、また、菊川市の基幹作物であるお茶というものの、後継者、担い手ではありますが、魅力ある茶業にしていかな

くてはならないと思っていますで、生産者の皆さんにご指導を賜りたいと思っております。昨年と今年の茶価を見ますと、将来に不安を持つ結果と承知しています。皆さんと情報交換をしながら取り組んでいきます。